

GPS/JIPS 安全性要約書

物質名

4, 4' -シクロヘキサン-1, 1-ジイルジフェノール

物質の概要

白色の粉末状固体で常温では自己分解性ではなく化学的に安定です。
眼に対しては軽度の刺激性を示します。変異原性は陰性であり、発がん性、生殖毒性に関するデータは得られていません。

環境中では分解しにくい性質があり、水生環境では生物に悪影響のおそれがあるので環境中への放出は避けてください。

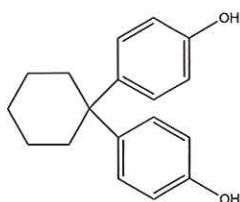
「一般的用途として、有機ゴム薬品（老化防止剤）、合成樹脂原料があります。」
(CHRIPIV 暴露情報－用途引用)

「当該製品は、主として、合成樹脂原料に使われています。」

化学的特性

一般名	4, 4' -シクロヘキサン-1, 1-ジイルジフェノール		
商品名	CHBP-F		
別名			
化学名	4, 4' -Cyclohexane-1, 1-diylidiphenol		
CAS 番号	843-55-0		
官報公示整理番号	化審法 4-44	安衛法	既存
分子式	C18H20O2		

構造式



用途

「当該製品は、主として、合成樹脂原料に使われています。」

物理化学的特性

物理的状態	粉末状固体
色	白色
臭い	特異臭なし
pH	評価できるデータがありません。
融点／凝固点	188°C以上
沸点	408. 98°C(計算値)
引火点	246°C
自然発火温度（発火点）	490°C(発火点)
燃焼限界ー上限 (%) -	評価できるデータがありません。
燃焼限界ー下限 (%) -	評価できるデータがありません。
蒸気圧：	13. 332 kPa/152. 2°C
蒸気密度 (Air=1)	評価できるデータがありません。
比重	評価できるデータがありません。
溶解度 (水)	3. 782mg/L(水)
溶解度 (その他)	評価できるデータがありません。
n-オクタノール／水分配係数	Log Kow: 5(計算値)
分解温度	評価できるデータがありません。
蒸発率	評価できるデータがありません。

ヒト健康影響安全性評価

危険有害性項目	評価結果
急性毒性（経口）	ラット 経口 LD50 : >5000mg/kg (EPA ガイドライン)
急性毒性（経皮）	評価できるデータがありません。
急性毒性（吸入：ガス）	評価できるデータがありません。
皮膚腐食性/刺激性	やや 刺激性なし (EPA ガイドライン)
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	やや 軽度の刺激性あり (EPA ガイドライン)
呼吸器感作性/皮膚感作性	ヒトパッチテスト 本化合物による陽性例は認められなかった。
生殖細胞変異原性	Ames 試験 隆陰性／化審法ガイドライン 染色体異常試験 隆陰性／化審法ガイドライン
反復投与毒性	評価できるデータがありません。
発がん性	評価できるデータがありません。
生殖毒性	評価できるデータがありません。
吸引性呼吸器有害性	評価できるデータがありません。
その他の影響	評価できるデータがありません。

上記評価はGHS(Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)：世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、安全データシートを提供したりするシステムに従って行っています。

環境影響安全性評価

危険有害性項目	評価結果
水生環境有害性（急性）：	水生環境では生物に悪影響のおそれがあります。（GHS分類区分2）
水生環境有害性（慢性）：	有害性を示す懸念に関して信頼性のあるデータはありません。（GHS分類は分類できない）
オゾン層への有害性：	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書（改訂版）リストに掲載されていません。

環境中の運命・挙動

生分解性：	環境中では分解しにくい性質があります。
生物蓄積性：	生物へ蓄積性は低いと考えられます。
PBT/vPvB	PBT／vPvBに該当しないと考えられます。
その他	

暴露

作業者暴露	当該物質は、閉鎖系プロセスで製造されるので、製造作業者への暴露の可能性は限られます。ただし、サンプリング作業、充填作業、移送作業等を行う場合は、吸入や皮膚・眼との接触の可能性があります。 当該物質は合成樹脂の原料として使用されます。合成樹脂の製造工程は、通常閉鎖系プロセスで製造されるので製造作業者への暴露の可能性は限られます。
消費者暴露	当該物質は、一般消費者にて使用されることはありません。
環境	当該物質は、製造プロセスで系外に発生する最終処理排水中の物質量は極めて微量ある。環境への影響はないと考えられる。 当該物質の環境暴露は、閉鎖系プロセスで製造されるので、環境放出はないと考えられる。 当該物質は、一般消費者にて使用されることはないため環境放出はないと考えられる。

推奨リスク管理措置

作業者暴露	技術的対策
	吸入及び眼、皮膚との接触を避ける。 取扱い後はよく手を洗う。粉塵が発生しないように取り扱う。高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。密閉して湿気の少ない冷暗所に施錠して保管する。作業場付近に手洗い、洗眼器、安全シャワー等を設置する。
	局所排気・全体換気
	局所排気装置等の適切な換気装置を設置する。
	許容濃度
	管理濃度 : 設定されていない 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2010年版) 設定されていない ACGIH(2010年版) 設定されていない
	保護具
	呼吸器の保護具 : 保護マスク(防塵マスク、有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器等) 手の保護具 : 保護手袋(ゴム手袋、不浸透性保護手袋等) 眼の保護具 : 保護眼鏡(側板付き保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡等) 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する長袖の保護衣(必要に応じて防塵服)及び安全靴(ゴム長靴)等
	注意事項 吸入及び眼、皮膚との接触を避ける。取扱い後は曝露した部分をよく洗う。
消費者暴露	当該物質は、一般消費者にて使用されることはありません。
環境暴露	環境への流出防止を図り、環境へ影響を起こさないようにする。
漏出時の緊急処置:	皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないように適切な保護具を着用し、ほうき、スコップ等で飛散したものを搔き集めて密閉できる空容器に回収する。

法規制情報/分類・ラベル情報

法規制情報	
労働安全衛生法	該当なし
化学物質管理促進法	該当なし
消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
国連分類	国連勧告の定義上危険物に該当しません。
国連番号	なし

GHS 分類		
物理化学的危険性	分類できない	
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分外	眼に対する損傷性／刺激性区分 2 B
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)区分 2	
GHS ラベル要素		
絵表示またはシンボル	なし	
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	・眼刺激 ・水生生物に毒性	

連絡先

rcinform@taoka-chem.co.jp

発行・改訂日

改訂情報		
区分	年/月	改訂箇所
制定	2012/8/8	

その他の情報

国際機関、各国当局によるレビュー	
NITE CHRIP	http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces

免責条項

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み(GPS/JIPS=Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象物質に関する安全な取扱いに関する概要を提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を詳しく提供するものではありません。記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。